

広報

ふじ

NO. 190

50.10.5 発行

発行・富士市役所
富士市永田61-1

編集・企画調整部広報広聴課
【毎月5日と25日発行】



交通安全を願う青年団が安全旗をリレー（九月二十八日吉原本町通りで）

浸蝕が進む海岸線

田子の浦海岸と元吉原海岸で浸蝕防止工事を進めていますが、これらの工事は急場をしのごにすぎず、恒久的な対策とはいえません。田子の浦海岸では8月の台風6号によつて離海岸の一部が破壊されるなど、地域住民の不安は

ぬぐいきれません。今後、市も恒久的対策が一日も早く実施されるよう国、県に強く働きかけていきますが、市民の皆さんも市と一体になつてこの問題に取り組んでください。

恒久的な浸蝕防止対策を

市内の海岸線は富士川河口から柏原まで約10㎞あります。全般的に浸蝕が進んでいますが、なかでも富士海岸の中丸・新浜地先、田子の浦港から東へ約1㎞の区間がひどくなっています。30年近くのあいだに100㎡以上も浸蝕され、特に中丸付近では堤防から波打ちぎわまで約10㎡ほどしかありません。

このため、田子の浦海岸は昭和42年から約30億のお金をかけて高潮対策工事を進めています。また、元吉原海岸も昨年から1億7000万円をかけ工事に取りかかりました。しかしこのように大掛かりな浸蝕防止工事

を進めても、恒久的な対策とはいえ急場をしごいでいるにすぎません。

たとえば、波打ちぎわにテトラポットやブロックを積んでも、回りの砂がけずられてしまうと、沈下したり海の中に引き込まれてしまいます。

今年8月には、台風6号の影響で田子の浦海岸のテトラポットやブロックが延1200㎡にわたって沈下、飛散している状況です。このため、地



【毘沙門天裏の海岸で昨年8月に撮影したプールの井戸】

域の人達が国・県に、富士海岸の災害復旧と高潮対策事業の促進について陳情を行いました。

昭和41年と同じような高波がきたら……

堤防から波打ちぎわまでの距離が昔のようにあれば、高波が打ちよせても現在の堤防である程度防ぐことができます。しかし、浸蝕が進んでいることを考えると、昭和41年と同じような高波が再びおしよせたらどうでしょうか。背すじが寒くなることと思います。

これ以上の浸蝕を食い止めるために、何拾億、何百億かかるかわかりませんが、市は住民の生命と財産を守るため、国や県に浸蝕防止対策を強く働きかけていきます。国も富士海岸の浸蝕対策には積極的に取り組み研究を進めていますので、市民の皆さんも、市と一体になってこの問題を考えてください。



【建設省が1億7000万円をかけて元吉原海岸の浸蝕防止工事】

幼児を交通事故から守る

遊びながら交通の勉強をする「りすさんクラブ」

市内で9月までに発生した人身事故は700件、このうち幼児が関係している事故は103件で、7件に1件の割合で起っています。このほとんどがとび出しや車の直前直後の横断、路上遊びなどで、母親が近くにいなから事故に合うケースも多くあります。言い換えれば幼児の交通事故のほとんどが親の不注意によって起るともいえます。

幼児の交通事故を防ぐには、子供だけでなく親と子がいっしょにそろって交通安全の勉強を行うことが必要です。そこで、保育園や地域で、遊びながら交通の勉強をする幼児の交通安全クラブの結成を進めています。昨年12月鷹岡保育園をはじめ、南保育園、鮫島、宮島新田、旭化成川成島、柳島、中丸第2、上五貫島、田子、三四軒屋、前田新田、日東、助六、中丸第1、下五貫島、小須、千鳥、富士見ヶ丘、前田の20団体で結成しました。各クラブは子供達に親しまれやすいように「りすさんクラブ」と名前をつけ、活動を行い効果をあげています。



指導者200人が参加した研修会

幼児交通安全クラブの指導者がこのほど旭化成の体育館で研修を行いました。会場には200人の若いお母さんが集まり、幼児の交通安全対策の講義や交通安全体操、ゲームなどの指導を熱心に受けました。

子供の特性を頭に入れ 具体的な指導

幼児には共通して、交通に関する特性がありますので、皆さんも、かわいい子供さんを事故から守るために次のことを頭において指導を行ってください。

〔幼児の特性〕

- ①自己中心的である
- ②ひとつのものに注意が向くと他のものが目に入らなくなる。
- ③車など、物かげで遊ぶ傾向がある。
- ④手をあげれば車は必ず止まってくれるなど単純にしか理解できない。
- ⑤なんでもよくまねる。
- ⑥その時の気分によって行動が変わる
- ⑦行動を通して具体的に教えないと理解できない。



おかあさんも
熱心に
指導方法を勉強

3本指のやくそく
— かならず とまって みぎひだり —

病院・水道会計を承認

市議会9月定例会が、9月23日から30日まで開かれ、昭和50年度一般会計補正予算、消防団員等公務災害補償条例の一部改正など当局提案の26議案と議員提出による1議案を審議した結果、いずれも原案どおり可決されました。それでは、昭和49年度の水道と病院事業会計決算認定についてお知らせいたします。

水道会計

昭和49年度は、第4次拡張事業も4年目を迎え、事業費3億6400万円、起債3億円の認可を得て、高台の減水地区の解消と、開発地区に対する配水量を確保するため、取水、送水施設の整備を中心に37件の工事を行いました。事業の主なものは、深井戸1井、配水池1池を造るとともに吉原送水場の建設に併せ、送水設備電気設備などの工事を実施しました。また、送水管4953㍍を布設し、給水範囲の拡大につとめました。

改良工事は6240万円で簡易水道統合事業をはじめ、増圧対策を重点に実施し給水の円滑化に対処しました。

業務量は期末給水戸数45.891戸、給水人口164.978人で、

給水戸数、給水量が伸びなやむ

年間総配水量は2.566万立方㍍、1日平均7万立方㍍に達しました。

一方財政面においては5年間の財政計画に基づいて策定された料金改訂が承認され、8月分水道料金から適用されました。しかし、このころから業務量に変化が現われ、給水戸数、給水量が伸び悩みました。このため、事業収益の大半をしめる給水収益は6億2396万円で、人件費、動力費減価償却費、支払利息などの費用8億2568万円に対

し、総収益は8億1912万円で、656万円の欠損金が出て財政運営に不安を残しました。

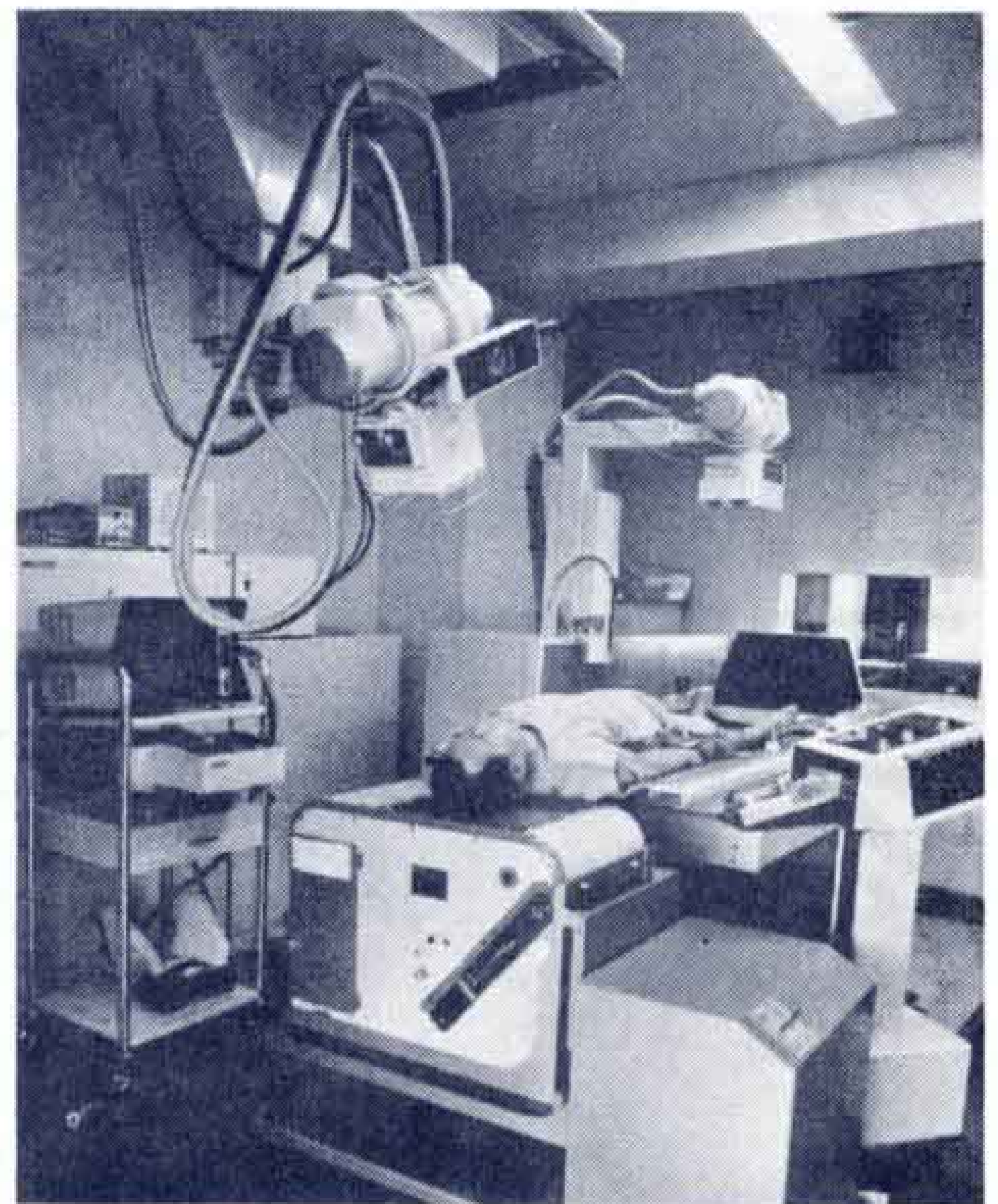
資本的収支における財源不足1億2655万円については、内部保留金などの財源をもって措置しました。なお、今後の経営については、一層事業の合理的な運営と財政の健全化につとめ、市民の要望にこたえてまいります。

病院会計

内科医の補充ができず患者数が大幅に減少

富士市立中央病院の49年度における利用状況は、年間の患者数が270,963人（1日平均858人）で、前年に比べ25,399人、8.6%の減少となりました。この内訳は、入院患者が86,344人、外来者が184,619人です。なお、手術数、投薬数、検査数、放射線件数など、いずれも前年度の実績を下回りました。減少の主な理由としては、年度の途中に内科医が退職し、その補充ができなかったためです。

経営状況から見ると、収益総額は16億1681万円、費用総額は15億9022万円で、差引き2659万円の黒字となっています。しかし、収益中一般会計からの補助金2億6725万円を含んでいるので、実質的には多額の赤字決算です。昭和49年2月医療費の緊急是正に続いて10月にも再度改訂されましたが、大幅な給与の改善と諸経費の増加により費用が増え、採算性はさらに悪くなっています。



【地域の医療水準の向上をはかる高度医療機械】

資本的収支は、医療機械整備企業債7000万円が認められ、事業内部資金も当て9123万円の建設改良、2409万円の企業債及び割賦金の元金償還を予定どおり実施しました。特に企業債によって整備した高度医療機械は、患者の健康回復に充分活用すると共に地域の医療水準の向上に役立つものと思われます。

溶岩洞穴を保存しよう

富士山が現在のような形になるまでには、何百万年も前から噴火をくりかえしてきました。大きな噴火のたびに大量の溶岩が山麓一帯に流れ出し、そのつど山の様相を変えています。最後の大きな噴火は徳川時代の宝永4年11月23日で、12月8日まで続いたと記録されています。以来270年余り噴火がなく、今では休火山になっています。

たびかさなる噴火によって流れ出した溶岩は、山麓一帯に幾重にも重なっています。溶岩が流れ出した時、表面が固まってきたものの、中はまだドロドロの状態、中の溶岩が表面をやぶって流れ出し、そこに空洞をつくりました。これが溶岩洞穴といわれるもので、富士山麓一帯には

数多くあり、富士宮の人穴、御殿場の御胎内、駒門の風穴万野の風穴などが大きくて有名です。市内にも大小合わせると5~6カ所ありますが、代表的なものが、穴原の不動穴久沢北の八幡穴です。

なお、不動穴、八幡穴はこれまで専門家による調査が実施されず、不明な点も多くありますが、学術的に重要な洞穴といわれています。そこでこの洞穴を保存していこうという声が高まってきました。

穴原の不動穴は104メートル

それでは、さきごろ不動穴の途中まで入って写真を撮影してきましたので、中の様子をお知らせいたします。

不動穴は穴原の県道元吉原大淵富士宮線から100㍍ばかり南にさがった畑の中で、ポッ

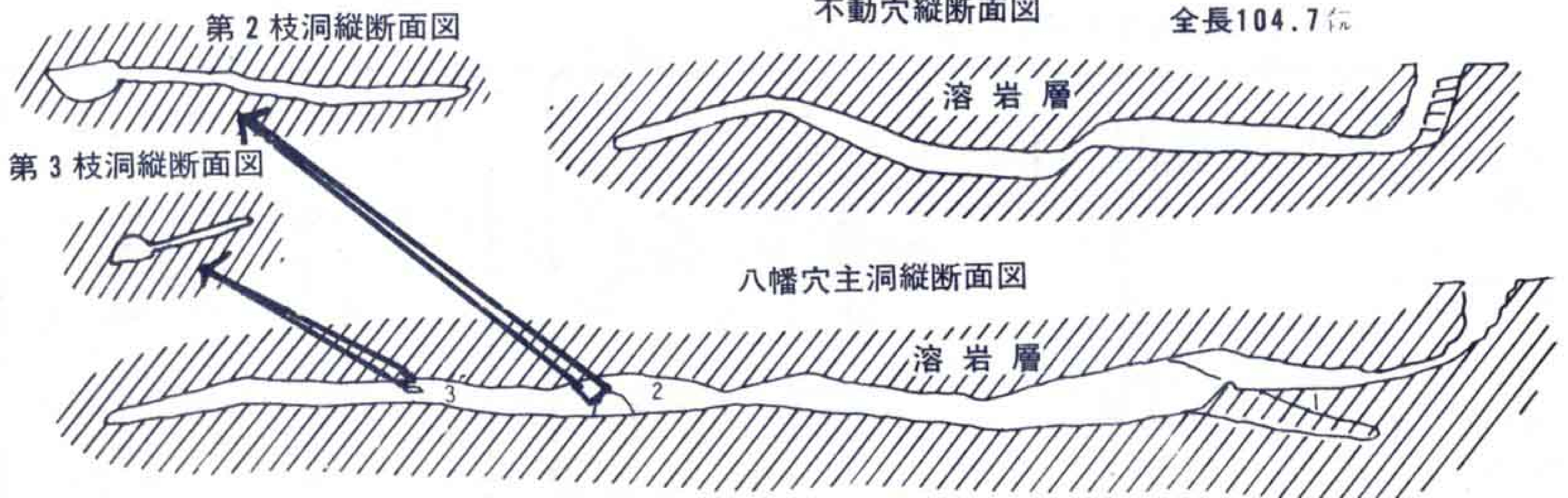


【穴原不動穴の入口】

カリと口をあけ、地上から3㍍ばかり下におりると洞穴の入口です。一歩中に入るとヒンヤリとし、夏でも冷房のきいた部屋の中にいるようです。

中は入口から10㍍ぐらいまで立って歩けますが、だんだん天井が低くなり腰をかがめて2㍍ほど行きますそこをすぎるとまた広くなり、約50㍍はらくに歩けます。しかし、その先はまた狭くなっているため、それ以上行くことをやめました。104.7㍍まで行くことができます。

なお、久沢北の八幡穴は、不動穴よりも距離は長く、主洞のほかに3本の枝洞があります。



密封食品に正味量の表示を義務づけ

合成殺菌料「AF₂」の使用禁止とともに、食品に対する安全性が叫ばれ、保存管理のしやすい密封食品がみなおされてきました。しかし、中身の量が不明確で損をさせられてもわからないなど、消費者からの苦情も多くなっています。

このため通産省は、計量法の一部を改正して、野菜、肉、魚などから品目を指定し、その密封製品に正味量の表示を義務づけました。これは3月15日から実施されていますが、それ以前に製造されたもののために6カ月間の猶予期間が置かれていま

した。しかし、この猶予期間も終り9月15日から指定品目のすべてに表示がつくようになりました。

そこで、消費生活モニターが、密封食品の指定品目に「量目の表示がしてあるか」「正味量は表示どおりか」など調べるため、このほど試買調査を実施しました。

消費生活モニターが…… 密封食品の試買調査

12パーセントに量目不足

調査はモニターが近所の食料品店から購入してきた魚介類の加工品121点、食肉類47点、豆腐・野菜類の加工品82点、海草類41点、その他130点の合計421点について実施しました。

この結果、正味量の表示がしてあったものは421点中、395点で93.8%無表示など不適正だったものは26点で6.2%でした。特に海草類の加工品に無表示が多く32点中、9点もありました。

量目の調査は386点について行いましたが、正量だったのは227点で58.8%です。残りの159点は正量でないものですが、このうち不足は47点で12.2%、量が多すぎたもの112点で29%となっています。

なお、量が多いのは消費者にとってはありがたいことですが、正しい量目とはいえません。この調査ではプラスは4%以内、マイナスは2%以内を正量としています。

この調査結果により、無表示や正量でないものなどは、県計量検定所と通産省がメーカーに指導を行っていきます。特に、正味量の指定義務表示商品の違反者に対しては、勧告やメーカー名の公表がなされます。

なお、消費者自身も日頃から計量に関心をもち、商品の監視をし、ごまかされないような買物を心がけることが大切です。



【密封食品の計量をする消費生活モニター】

犬の放し飼いは迷惑です

犬の放し飼いは市の条例で禁止されています。おとなしい犬だからといっても、知らない人はこわいものです。他人に危害を加えたり、畑を荒したりすることのないように、必ずつないでおいてください。



訂正 前号 (NO.189)

の6ページで、富士地区に県立普通科高校誘致について載せましたが、見出しに誤りがありましたので訂正いたします。

「10,700人の署名を県へ」が「110,083人の署名を県へ」です。



南富士ゴルフ倶楽部に 市民団体が抗議

県や市の行政指導を無視して、南富士ゴルフ倶楽部は、大淵丸火地先にゴルフコースの建設を進めていますが、同ゴルフ倶楽部は9月27日と28日、会員にコースの披露を行うこととなりました。このため、南富士ゴルフ場建設阻止富士市民会議が披露に反対して、両日、現地で実力行使を行いました。ゴルフ場入口に集まった市民会議のメンバーは、道路にゴルフ場反対のたれ幕を張り、見学に来た会員に説得するなどの阻止行動となりました。

静岡県工芸展富士展＝吉原市民会館＝



吉原市本町通りで歩行靴作園

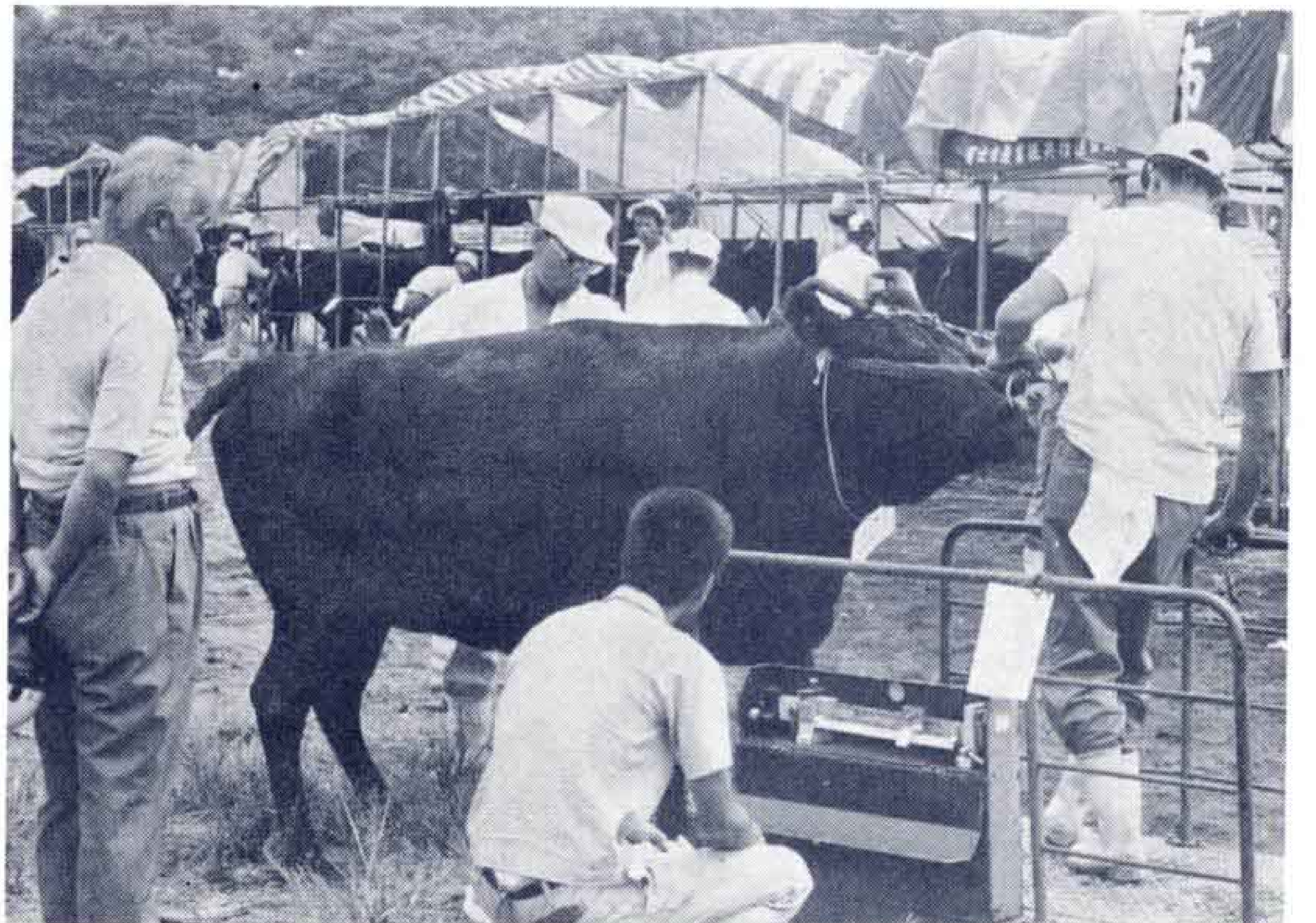
第9回富士市畜産共進会

牛や豚60頭が出陳

第9回富士市畜産共進会を9月18日木の宮運動公園広場で行いました。市内で飼育されている乳牛、肉牛、種豚は約2250頭で、このなかから自慢の60頭が出陳されました。

審査は体重や発育などを1頭1頭厳しく行いましたが、各部の最高位は次のとおりです。

- 乳牛の部 深沢俊夫（久沢）
- 肉牛の部 稲葉佐太郎（傘木）
- 種豚の部 加藤てる子（穴原）





吉原宿

宿場は旅人が休んだり、とまったりするところです。ですから、旅人のとまりやすい山のふもとや街道と街道の交わるところ、また川の近くに発達しました。元吉原宿も、富士川の渡しにありました。

元吉原宿が津波のため、依田橋の方に移ったのは寛永（かえい）16年（今から336年前）です。新しい宿場は、今の依田橋から津田、荒田島のあたりで、中吉原宿と呼ばれていま

す。

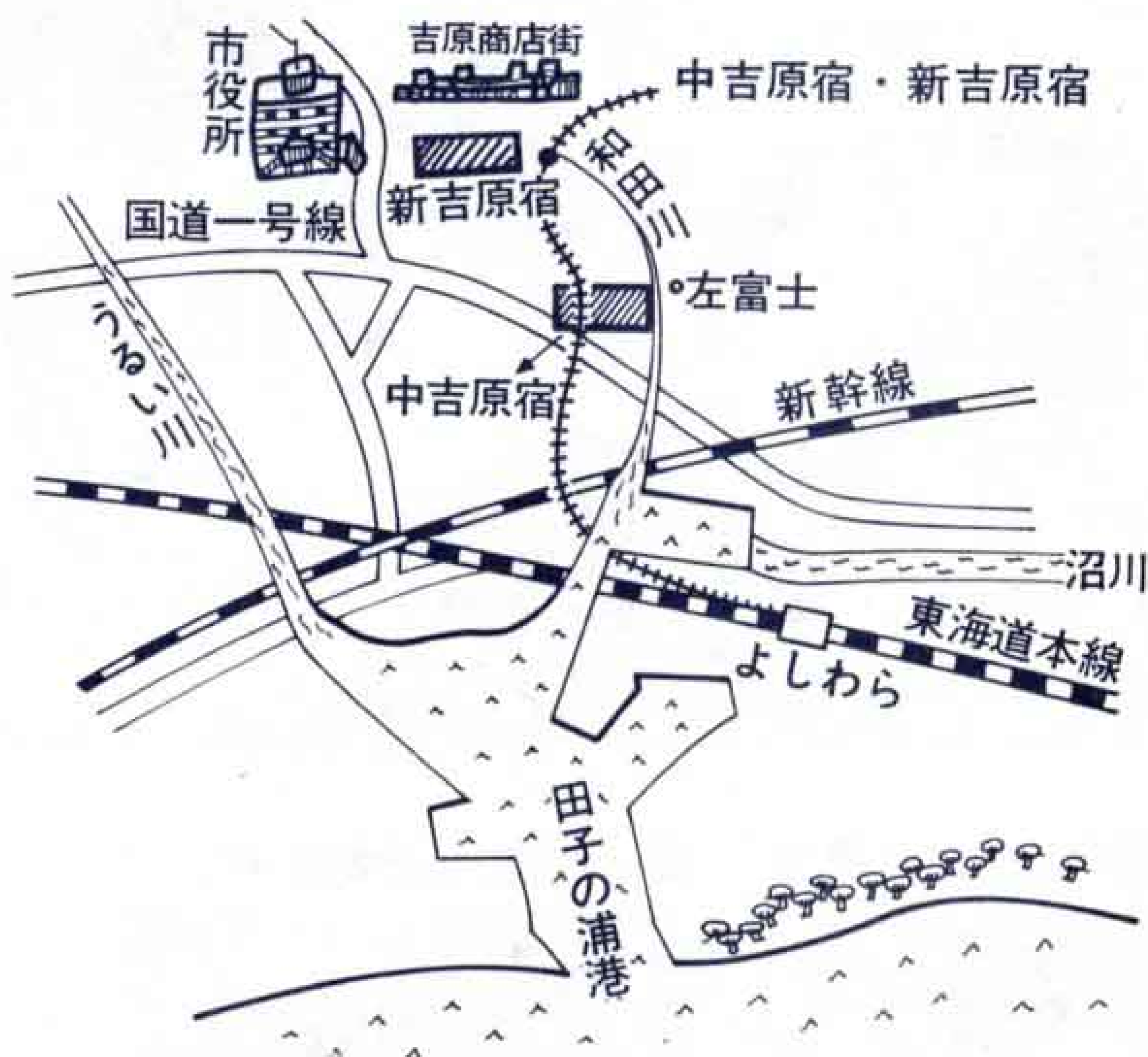
ところが、中吉原宿も宿場ができてから42年目、大津波のためぜんめつしてしまいました。死んだ人は、700人以上もあったそうです。

宿場は、また場所がかわり、こんどは幕府から2500両という大金をかりて、今の吉原本町通りにうつりました。

新吉原宿は、日産自動車の西側から新追町の小うるい川にかかった四軒橋まで1400軒くらいあってはたごのほか茶屋人や荷物をはこぶ伝馬立場などが、街道

にそって帯のように長くのびていました。

幕末のころ新吉原宿には、本陣2軒、脇本陣4軒、はたごが120軒もあって大変にぎやかでした。



=富士第1小=

6年生が交通安全リーダー

秋の全国交通安全運動が9月22日からはじまりましたが、運動の初日富士第1小学校で、交通安全リーダーのワッペン伝達式が行われました。交通安全リーダーは、みんなが交

通事故に合わないよう正しい交通ルールの指導を行っていくもので、6年生全員がリーダーになります。

伝達式では代表者にワッペンとリーダー手帳が渡されました。また、

警察や市役所の交通課のおじさんから、交通事故に合わないようにし、下級生の指導を行ってください。5年生以下の人でもリーダーを見習い、正しい交通ルールを必ず守ってくださいと注意を受けました。

そのあと、リーダーを代表して五十嵐君が、交通事故のニュースが新聞やテレビで報道され、みんなの願いは中々実らない。私達は正しい交通ルールを守り、下級生の模範になり、事故に合わないようにしますと誓いました。

